
今日 の 力

2025年8月11日 ～ 8月17日

翻訳 キャンベル 栄子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

8月11日(月)

共に従う群れ

聖書朗読 ヨハネの福音書 10：1～18

わたしは良い牧者です。わたしはわたしのものを知っています。また、わたしのものは、わたしを知っています。
ヨハネ 10：14

《初心者のための羊飼育》という本を読んで、羊は仲間と共に行動し、本能に従う生き物だと学びました。自己防衛のために大きな群れを作って行動を共にします。少なくとも5匹が一緒になると安心と感じるようです。

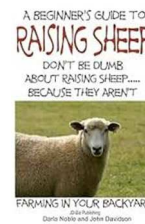
羊は静かで落ち着いた声によく反応します。聴力がとても良いので、騒音は逆に彼らを刺激してしまいます。健康な子羊たちは好奇心旺盛で、それゆえに母羊や羊飼いの監視が必要となります。

羊は群れで生きること健康に育っていきます。それには良い羊飼いが必要です！ イエス様がご自身を私たちの牧者だと言われたのは不思議なことではありません。イエス様は私たちがひとりの牧者に従う、一つの群れとなるように望まれています。（16節）イエス様は私たちの牧者として、私たちのためにいのちを捨ててくださいました。私たちは御声に聞き従い、共にその方について行きます。

信仰を持ったばかりのクリスチャンはまるで子羊のようで、頻繁に霊的な糧が必要です。イエス様は真の食物を与えてくださいます。彼らは御言葉に興味があり、もっと知りたいと思います。羊の群れが子羊を見捨てないように、私たちも新しい信仰者を支え、成長を手伝いましょう。イエス様に共に従う群れとなれるように祈りましょう。

讃美歌 354 かいぬしわが主よ

祈り 力強く、偉大な神様、イエス様が私たちの羊飼いであることに感謝いたします。あなたが私たちのために計画してくださった良き御業を、イエス様の模範に従って行うことができますように導いてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



ケンタッキー州 フォート・トーマス / ラニータ・ブラッドリー・ボイド

8月12日（火）

羊飼いを信じましょう

聖書朗読 ヨハネの福音書 10：7～10

ヨナタンは、道具持ちの若者に言った。「さあ、あの割礼を受けていない者どもの先陣のところへ渡って行こう。たぶん、主がわれわれに味方してくださるであろう。大人数によるのであっても、小人数によるのであっても、主がお救いになるのに妨げとなるものは何もない。」

サムエルI 14：6

私が子どもだった頃、田舎に住む友達と多くの時間を過ごしました。私たちが一緒に体験したことのひとつに、羊の群れを何時間もかけて追うことがありました。その時は気づきませんでした。友達から羊について簡単かつ大事なことを教わりました。羊は単なる動物ではなく、その家族の農場にとって価値ある財産でした。羊たちは、囲いの門から出てしまっても、自分たちは導かれ、外敵から守られ、そして帰ってくれば安全な家が待っていることを知っているかのようにでした。それまでの間、羊たちはちょっとした旅行を楽しんでいる様に見えました。

イエス様は、ご自身が神様の救いに近づくための門であると示されています。その旅の途中でも、私たちはイエス様を信頼することができます。イエス様は私たちを導き、守り、神の子どもとして与えられた価値を大切にしてください。羊が羊飼いの見守りによって安心できるよりはるかに大きな祝福によって、私たちは良い牧者イエス様のもとで見守られ安心を得ることができます。なぜなら、主と共にあるいのちの賜物は、今も、これから続くものだからです。

讃美歌第二編 56 主はその群れを

祈り 親愛なる主よ、あなたの愛の中にとどまり、あなたのお守りを喜び祝うことができますように。私たちがあなたを信頼して従う時、私たちは羊飼いであるあなたの愛の中にあるのだと理解できるように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。



ニューメキシコ州 グランツ / ランディ・ロバーツ

8月13日（水）

今も語り継がれる祝福

聖書朗読 ヨハネの福音書 12：1～11

また私は、天からこう言っている声を聞いた。「書きしるせ。『今から後、主にあつて死ぬ死者は幸いである。』」御霊も言われる。「しかり。彼らはその労苦から解き放されて休むことができる。彼らの行いは彼らについて行くからである。」

黙示録 14：13

親切な行いは大抵、その後語り継がれるかなどは思いもよらずに行われます。けれども、マリヤの行動は聖書に記されており、今日もなお記憶されています。イエス様はこう言われました。『まことに、あなたがたに告げます。世界中のどこでも、この福音が宣べ伝えられる所なら、この人のした事も語られて、この人の記念となるでしょう。』（マタイ 26：13）イエス様は、マリヤがイエス様の葬りの日のために香油をとっておいただと言われました。マリヤは、イエス様の葬儀に薔薇を持って行く代わりに、イエス様がまだ生きておられる間に差し上げました。その香りは家中だけにとどまらず、やがて世界にも広がっていきました。

今日、だれかが“思いがけない親切”を行ったという話をよく聞きます。もしかすると、あなたもその親切を受け取ったことがあるかもしれません。レストランで会計をするとき、すでに誰かによって支払いが済まされていたとか。または、もっと良いのは、あなたが誰かのために支払いをしたかもしれませんね。さりげない親切な行いが持つ力を過小評価してはいけません。その親切が誰かの記念として語られることはないかもしれません。でも、その祝福は私たちが去った後も続いていくのです。今日、誰かに祝福を届けましょう！

聖歌 578 主の愛のながうちに

祈り 天の父よ。この地上は闇や絶望に覆われています。どうぞ私たちが光となり、まわりの人々の人生に祝福をもたらすことができます様に助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 サイプレス / デイル・フォスター

8月14日（木）

忙しすぎて

聖書朗読 ヨハネの福音書 12：37～43

彼らは、神からの栄誉よりも、人の栄誉を愛したからである。 ヨハネ 12：43

私の生活は自分のスケジュール帳によって管理されています。予定やプロジェクトが私の関心を奪っています。何日も自分のスケジュールに没頭しすぎて、永遠に続く大切なものを見失うことがあります。

あなたも私と同じように、ヨハネの福音書12章に登場するパリサイ人たちは、イエス様を信じてはいたのに、その信仰は認めようとしなかったのはなぜだろうと思ったことがあるかもしれません。彼らはイエス様に直接会い、奇跡を見て、その教えを聞いたにも関わらず、神様からの栄誉よりも、人の栄誉を選んだのです。

自分自身を振り返る時、私もまた神様の栄誉よりも人からの栄誉を選んでいる日があるのではないかと問い掛けざるを得ません。もちろん意図的に選んでいるわけではありません。例えば、時間とエネルギーをどう使うか、何をスケジュール帳に書き込むか、どうお金を使うか等、日々無数にある小さな選択の積み重ねで決まって行くのです。

これらの選択に、私が人の栄誉を選ぶのか、神様の栄誉を選ぶのかが表れています。多くの選択は小さなことですが、積み重なると私の人生のあり方そのものになっていきます。今日、少し時間を作って、自分の時間や与えられているものをどう使っているかを見直してみましょう。神様からの栄誉を選びましょう。

讃美歌 67 よろずのもの

祈り 親愛なる主よ。私が地上のことに夢中になりすぎて、あなたから目を離してしまふ様な時に気づかせてください。人からの評価を、あなたに従うことよりも優先しないようにしてください。永遠のものと一時的なものとを見分けられるように助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ラボック / ベス・ロビンソン

8月15日（金）

イエス様が弟子たちの汚れた足を洗われたとき

聖書朗読 ヨハネの福音書 13：4～15

わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように、わたしはあなたがたに模範を示したのです。 ヨハネ 13：15

使徒たちはイエス様と一緒に食事をしていました。イエス様は最後に神の国で偉大な者になるとはどういうことを教えるようとしていました。そして、イエス様はかがんで、使徒たちの汚れた足を洗われました。

2006年の夏、私と夫は世界で3番目に貧しい国へ宣教旅行に行きました。毎日お風呂に入ることはできず、旅の終盤になる頃には私たちはとても汚れ、もう家に帰りたいとも思いました。そんな時に、村の人々は、一生忘れることはないことを私たちにしてくれました。私たちを座らせ、彼らは私たちの足を洗い始めました。今まで味わったことのない非常に謙虚な気持ちになりました。

その時に私は、仕えるとはこういうことだと教えられているのは私の方だと気づきました。この尊い人々が私の汚れた足を洗ってくれて、イエス様が弟子たちの足を洗われた出来事が現実のこととして感じられました。

私たちが高ぶって、腰をかがめて人の足を洗うことなどできないとか、神様のために人が避けたがるような奉仕をためらうことがありませんように。イエス様の模範に従って、最も小さい者となることを光栄に思い、最も偉大なイエス様を崇めることができますように。

讃美歌 339 君なるイエスよ

祈り 親愛なる主よ。今日、私たちの前に置かれた機会に気づく目を与えてください。喜びの心を持って人に仕え、私たちの行うすべてのことにおいてあなたに栄光を帰すことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン。



アラバマ州 ハンツビル / クリスティ・ジョンソン

8月16日（土）

イエス様が愛されたように

聖書朗読 ヨハネの福音書 13：31～35

あなたがたに新しい戒めを与えましょう。互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。 ヨハネ 13：34

自分に優しくしてくれる人や、同じ価値観を分かち合える人を愛することは簡単です。でも、私たちを傷つけたり、失望させたり、何となく神経を逆なでする人だったらどうでしょう。イエス様は「気の合う人を愛しなさい。」とはおっしゃいませんでした。『わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合いなさい。』と言われました。

十字架にかけられる前の晩、イエス様は弟子たちの足を洗われました。それは汚い硬くなった、イエス様が洗う価値などない足でした。その弟子たちの中には、のちにイエス様を裏切るユダもいました。数時間後には自分を裏切ると知りながら、それでも誰かをそれほど深く愛することを想像できますか。そのように愛するように、イエス様は私たちに呼びかけています。

この愛は気持ちではなく、行動です。どんな困難な時でも、仕え、赦し、自分よりも他の人を優先することを選び取ることです。私たちがこのように愛するとき、世界の人はいエス様のことを垣間見ることができるのです。

今日、自分に問いかけてみましょう。私の行いを通して、イエス様の愛を見ることを必要としている人は誰でしょうか。イエス様のように愛することは簡単ではありませんが、これがイエス様がどんなお方かを世界に示す方法なのです。

聖歌 442 つみのふかみに

祈り 主よ、あなたが私を愛してくださったように、私も周りの人を愛することができるように教えてください。困難な時でも神様の恵みを伝え、私の行動の中にあなたの心が表されますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 デンバー / アナ・ポーター

8月17日（日）

場所を備えに行きます

聖書朗読 ヨハネの福音書 14：1～6

私の父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、私は場所を備えに行くのです。 ヨハネ 14：2

父が亡くなったとき、私は父の持ち物に囲まれた部屋の中で座っていたのを覚えています。写真の一枚一枚、父が身に着けていた細々した物の一つ一つが、父の気配りや、どんな人生を歩んできたのかを物語っていました。けれども、父がいない部屋は空っぽに感じられたのです。その時、私は、『私は場所を備えに行くのです。』というイエス様の約束を思い出しました。それは家具や室内装飾のことではなく、イエス様のご臨在のことなのだ、その瞬間ハッと気づきました。

イエス様が備えてくださる場所では、私たちのすべてが知られていて、その上で私たちは完全に愛されるのです。一時的なものでなく、条件付きでもなく、永遠に続く場所です。イエス様はその場所を義務感からではなく、私たちと一緒にいたいと望まれて用意されるのです。

不安や深い悲しみ、恐れに向き合う時、私たちはイエス様のこの約束にすがることができます。イエス様は神様のみもとに行く道だけではなく、その道のりを価値あるものにしてください。イエス様が準備される場所があるからこそ、天国は単なる目的地ではなく、私たちの家なのだ、と確信することができるのです。

聖歌 638 やがて天にて

祈り イエス様、あなたと永遠に一緒にいられる希望をありがとうございます。どんな時でも、その希望を心に抱き、あなたの約束を信じ、生きることができますように助けてください。アーメン。



オクラホマ州 タルサ / ジャンネット・テイラー